



3



2



造

かわちながの ものづくり探訪

Made in Kawachinagano

作

12

創

楽しい笑顔の 生活をお手伝いする 株式会社 ひげ工房

1 座位を測定する装置に依頼者を乗せるスタッフ 2 装置での測定のほか、体を抱きかかえ素手でも形を感じ取ります 3 ひげ工房の強みを熱く語る古橋代表取締役 4 ウレタンを削り形状を創っていくスタッフ 5 オーダーメイドの製品以外にもバリアフリー座椅子なども生産

平成3年に補装具の製造販売を手掛けるために設立された株式会社ひげ工房。補装具とは身体に障がいのある人を助けるための器具で、同社では補装具の中でも体位を保持する座位保持装置を主に製作。「重度の身体障がいを持つ人は自力で座ることができないため、身体を支える必要があります。それを支えるのが座位保持装置で、身体の傾きや変形などを考慮して、医師やセラピストの助言のもと、本人にとってベストなものをオーダーで製作しています」と古橋貴浩代表取締役は語ります。

製作は、身体を測ったデータを基にNC加工機でウレタンを削り出し、座面と背もたれを成形、使用する人に応じて必要な機能を持ったフレームに載せて仕上げます。この過程で「その人に単にフィットするだけではなく、食事がしやすい、パソコンが楽にできる、姿勢が良くなるなどの機能を考えて、形を創る必要があります。我社には熟練の製作担当者があり、最適なものを作っています」と古橋さんの言葉に力がこもります。

実際に製作担当者の三谷博人さんと古崎一路さんにたずねてみるとコストの制約があるものの、納得のいくまで製作にこだわっているとのこと。「重い障がいを抱える人にとって、座位がとれるだけで、世界が広がります。それをどう技術的に援助するのか、その探求心を糧に自己満足かもしれませんが、

「国の補助に制約があるため、いいものを作ろうと手をかければかけるほど利益が減少します」と古橋さん。それでも同社は、楽しい笑顔の生活をお手伝いするため、今日も補装具を製作しています。

「取り組んでいます」と率直な思いを話されました。それは、職人気質そのもので、結果的に感謝されたり、「辞めないでね」と言われることも多く、それも仕事へのモチベーションになっているといいます。



株式会社 ひげ工房

本市加賀田で設立され、現在は上原西町で補装具の製造販売、介護保険の福祉用具を手がける。ひげ工房の由来は、創業者がひげを生やしていたからだとか。

上原西町 9-3 ☎ 56-9696
<http://higekobo.co.jp/>



製作を依頼したご家族と
ひげ工房のスタッフ